

2011年
春

どうそ 満 活動報告



発行責任者 道祖 満
飯塚市鯨田2525-44
TEL 25-3280・22-9323

つくります!
newしいづがライフ

どうそ 道祖 満

e-mail:m.douso@fmwu.or.jp

うちなびき春は来にけり

青柳のかけ踏む道に人の休らふ

(藤原 高遠)

皆様、お元気ですか。

今年は3月に入って雪が降りましたが、朝起きて驚きました。

遠賀川には、菜の花の黄色の花が春の訪れを伝えていますが、この議員活動報告が皆様のお手元に届く時は、桜の花が咲き始めている頃だと思います。



平成23年3月定例会が、2月8日から3月8日まで開催され平成23年度の飯塚市一般会計予算・各特別会計予算等の審議がおこなわれました。また、平成23年度の市長の施政方針が示されましたので、これに対して代表質問をおこないました。

飯塚市議会議員の今回の任期は、平成23年3月10日までです。

新たな市議会議員を選ぶ選挙は、4月24日に行われる地方統一選挙で実施されます。

わたしは1市4町の合併後2度目となります飯塚市議会議員選挙に皆様の温かいご支援に支えられて挑戦させていただきます。

わたしは、これまでと同様に「生きる喜びと心ふれあう街」「活力に満ちた街」づくりに取り組み、次代を担う子ども達が「わたしのふるさととは、筑豊飯塚です。」と胸を張って言える生活環境の整備を目指していきたいと考えています。

温かいご支援をよろしく御願い致します。

平成23年3月定例市議会報告

平成23年3月定例市議会が、2月8日より3月8日まで開催されました。

今回の定例市議会では、平成22年度飯塚市一般会計補正予算と2件の特別会計補正予算の審議と、平成23年度飯塚市一般会計予算と13件の特別会計予算の審議と、条例議案13件、専決処分の承認(学校給食費請求事件)1件、指定管理者の指定(健康の森公園市民プール及び多目的施設)1件、人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めること1件、報告事項4件についての審議が行われました。

平成23年度飯塚市一般会計予算の中で、新規に取り組む主な事業は、市勢振興寄与者を表彰する表彰条例関係費62万9千円、合併後10周年記念で発行予定の市誌編さん事業費902万3千円、12地区公民館単位のまちづくり協議会(準備会)に対する地域コミュニティ活動推進補助金120万円、平成24年から26年までの高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定支援委託料372万5千円、5年毎に策定している障がい者福祉計画策定経費358万7千円、全額県補助金で行う乳幼児家庭全戸訪問事業費1007万7千円、全額国補助金で行う就労支援業務委託料946万9千円、全額国補助金で行う年金手続等支援業務委託料488万6千円、小学校5・6年生に対する外国語教育の為の国際教育事業費316万8千円、飯塚第三中・菟田中を飯塚第一中に統合する為の飯塚第一中学校増築事業費(地盤調査委託・設計委託)3091万3千円等で、総額では582億1800万円の予算となっています。

また、条例議案では、市勢振興に寄与し、功労顕著な者をたたえ、表彰する。為の「飯塚市表彰条例」、飯塚市公立保育所運営検討委員会を公立保育所及び公立幼稚園の在り方について総合的に検討して行く為の「飯塚市公立保育所・幼稚園あり方検討委員会」に変更する条例、飯塚市野球場の照明を廃止し利用時間を変更する為の「飯塚市野球場条例の一部を改正する条例」、平成16年から使用されていない伊岐須児童センターを廃止する為の「飯塚市児童センター及び児童館条例の一部を改正する条例」等が審議されました。

西 日 本 新 聞

2011年(平成23年)2月9日 水曜日

景気対策補助金など
補正予算案を提案
飯塚市議会開会
飯塚市議会2月定例会
は8日開会し、会期を3
月8日までの29日間と決
めた後、執行部が景気対
策のため国と県から支給
される補助金など約6億
1900万円を追加する
一般会計補正予算案など
2010年度関係分の8
議案を提案した。11年度
関係議案は2月15日の本
会議で提案される予定。
10年度一般会計の総額
は、補正後で約575億
6300万円となる。ほ
かの議案は、行財政改革
の一環で市長など特別職
の給与を減額している措
置を1年間延長する職員
給与条例の改正案など。
10年度関係分の議案は15
日に採決される。
斉藤守史市長の11年度
の施政方針説明は15日、
一般質問は2月22〜25日
の4日間。

施政方針に対して代表質問を行いました。

昨年の施政方針についても代表質問を行いました。今年も市長の施政方針に対して代表質問を致しました。

市長の施政方針では、飯塚市も国や他の地方自治体と同様に厳しい事態に直面しているが、「学校の再編整備」、「浸水対策」、「中心市街地の活性化」を飯塚市の重要施策の3つの柱として取組む、積極的な企業誘致に取組み雇用確保策を講じると前文で述べています。

質問（前文について）

3つの重要施策については、合併特例債の活用が考えられているようですが、合併特例債の対象事業には制限がありますが、浸水対策などはこの制限を超えて適用されることになったと理解してよろしいでしょうか。

答弁（企画調整部長）

浸水対策事業については、合併をしなくても実施しなければならない事業であるとして合併特例債の対象外とされていましたが、関係各位の協力により、県と再度協議を行い、合併後の新市で新たに防災計画並びに浸水対策基本計画を策定し実施するものであれば、対象事業としてよいとの協議が整ったものです。

質問（前文について）

飯塚市の厳しい事態について、市民の皆様に理解できるよう説明を求めます。

答弁（企画調整部長）

本市に置いても、自主財源に乏しく地方交付税や国等の補助金に依存した行財政運営を行っていますが、政権交代や政策転換などによる地方公共団体を取り巻く環境が変われば、これまで以上に厳しい行財政運営を行わなければならないことも予想されます。これに加えて少子高齢化の予想を超える急速な進展、都市部への人口流失が続く中、本市も他の自治体等と同様に厳しい状態にある。

質問（前文について）

合併後11年目から普通交付税が一本算定に向けて削減がされていきますが、合併後16年目では、平成22年度に比較して約29億円の普通交付税が削減されますが現在の取組みで対応できますか。（平成22年12月定例市議会一般質問と同一質問）

答弁（財務部長）

ご指摘の通り、平成33年度には大幅な普通交付税の削減が見込まれております。

本市では、現在のところ行財政改革実施計画の第一次改訂版を策定し、平成25年度までに単年度収支を黒字化することを目標に行財政の運営に取り組んでいるところです。また、一方で必要な時点で改めて数値目標を設定し対応することを考えている。

厚生委員会で要望

厚生委員会では、平成23年度飯塚市国民保険特別会計予算の審議が行われました。この審議の際に、合併前の旧飯塚市では、国民健康保険に加入しているが、病院に係らず健康保険を使っていない方に対し、記念品を送っていたが、このような制度を復活させる事が出来ないか、と要望致しました。

これに対して、実現できるかわからないが、十分検討したいとの答弁でした。

この制度の復活は、健康維持の増進に繋がり、ひいては医療費の抑制に繋がると思うので、ぜひ、検討するように要望致しました。

平成23年度一般会計予算特別委員会で要望

この特別委員会では、民生費・青少年対策費「児童クラブ運営費」に関連して、厚生委員会で要望していた、児童クラブの時間延長の検討について質しました。

これに対して、時間延長を要望する保護者の声を聞いている。延長する方向で児童クラブの委託先とも協議を進めていきたい。との答弁でした。

児童クラブの職員確保が困難と聞いているが、市内にある近畿短期大学の保育科に協力を要請し、実習を兼ねたアルバイトとして雇用するなどの創意工夫をして、時間延長の実現をするように要望致しました。

また、衛生費・ごみ処理費「ごみ収集費」に関連して、ごみの収集には、ステーション方式と戸別方式があるが、ステーション方式でも家の前に、ごみが市指定袋で出されていた場合、市としては収集の義務があるがのではないかと質しました。

これに対して、市には一般廃棄物処理の責務があるため、環境保全の立場から支障のないうちに、片づけるという義務になっているとの答弁でした。

現在、市内では高齢者の方々が多くなってきており、重たいごみ袋をステーションに運ぶことが非常に困難になってきているので、ごみの収集方法のあり方を戸別で検討する様に要望致しました。

飯塚市議会「政務調査費廃止」

飯塚市議会では、平成23年2月25日の本会議において、飯塚市議会政務調査費の交付に関する条例を、平成23年4月1日から廃止することを、全議員一致で決定致しました。

市の財政状況が厳しい中、市民の皆様からの声を尊重して廃止することになりました。(廃止により年間1344万円の削減効果が生じます。)

4年間の市議会議員活動について

平成19年3月1日から平成23年3月10日までの4年間の任期の中の前半の2年間は、市民経済常任委員会に所属するとともに、飯塚市監査委員を務めました。

後半の2年間は、厚生常任委員会に所属するとともに、公共施設等のあり方に関する調査特別委員会に所属し、委員長を務めました。

各臨時市議会・定例会市議会での一般質問・代表質問、議員提案は、次の通りです。

◎平成19年4月16日開催の臨時市議会では、「市議会議員の報酬を月額制から日割りで支給する。」改正案を提案し、可決されました。

◎平成19年6月定例会市議会（6月12日～7月6日）では、「本会議・委員会開催時の費用弁償を交通費のみの実費支給とする。」改正案を提案し、可決されました。また、「政務調査費を月額5万円から4万円に削減する。」改正案を提案し、可決されました。（政務調査費については、平成23年4月1日で全額廃止案が、平成23年3月定例会市議会で、可決されました。）

◎平成19年9月定例会市議会（9月6日～9月26日）では、「議員定数34名を選挙区を設けずに6名減らし28名とする。」改正案を提案し、否決されました。

◎平成20年6月定例会市議会（6月11日～6月27日）では、「議員定数34名を選挙区を設けて6名減らし28名とする。」改正案を提案し、可決されました。

◎平成21年6月定例会市議会（6月11日～6月30日）では、「定住政策・教育行政について」の一般質問を行いました。

◎平成21年9月定例会市議会（9月9日～9月30日）では、「行財政改革・立岩踏切改善について」の一般質問を行いました。

◎平成21年12月定例会市議会（11月30日～12月22日）では、「教育行政・ICTに関して」の一般質問を行いました。

◎平成22年3月定例会市議会（2月22日～3月23日）では、「まちづくりに関して」の一般質問を行いました。

◎平成22年6月定例会（6月14日～7月12日）では、「市長の施政方針」に対して、代表質問を行いました。

◎平成22年9月定例会市議会（9月8日～9月30日）では、「大学を利用してまちづくり・飯塚市議会議員選挙の日程について」の一般質問を行いました。

◎平成22年12月定例会市議会（11月30日～12月21日）では、「まちづくりに合併特例債の活用を・観光行政の在り方について」の一般質問を行いました。

◎平成23年3月定例会市議会（2月8日～3月8日）では、「市長の施政方針」に対して、代表質問を行いました。

浸水対策に合併特例債活用

平成23年1月に「飯塚市防災（浸水）対策基本計画」が、発表されました。

この内容については2月の市報に掲載されましたので、ご存じのことと思いますが、この浸水対策には、合併特例債が約5.1億円活用出来ることになりました。

平成23年度から5年間で、合併特例債を活用して総額約6.1億円で23事業の対策を行う計画となっています。

合併特例債は、「合併後の市町村の一体性の速やかな確立を図る為に行う公共的施設の整備事業」、「合併後の市町村の均衡ある発展に資する為に行う公共的施設の整備事業」、「合併後の市町村の建設を総合的かつ効果的に推進する為に行う公共的施設の統合整備事業」となっており、浸水対策の為の、水路の改修や調整地の

設置等は適用外でしたが、飯塚市は、「浸水対策事業の促進について」の要望書を、民主党福岡県地域主権推進会議に提出しました。（地域主権会議では、この要望は緊急性があると判断し、国に対して要望内容の合併特例債適用を要請しました。）



鯉田・井出ノ上用排水路改修

また、平成22年1月24日に民主党山本剛正衆議院議員と国土交通省に「浸水対策事業の促進について」の要望を行い、その結果、今回の事業に取り組む事が出来るようになりました。

合併特例債の活用期限は、合併後10年間となっていますが、合併後の一体感のある「まちづくり」には時間が必要なため、この活用期間の延長を国に要望しています。



鯉田・浦田第一雨水幹線整備



大谷池貯留改良



立岩水路改修

嘉穂劇場の周辺整備について

鯉田地区自治会長会の研修会に参加して、熊本県の山鹿市にあります「八千代座」という芝居小屋と、その周辺の町並み（豊前街道沿い）を、見学をしました。

八千代座は、開業100年ということで100周年記念事業に取り組んでいましたが、（嘉穂劇場も開業80周年）見学してみて、八千代座の建物も立派ですが、周辺の建物の景観も統一されていて、落ち着いた、心地よい雰囲気を感じました。

現在、全国で9つの芝居小屋が実際に公演を行っていますが、嘉穂劇場以外の7つの芝居小屋は各自治体が所有し、1つは大手企業と財団が運営していますので、道路・駐車場・イベント広場が一体的に整備されています。

市に観光行政の一翼を担っている嘉穂劇場の周辺の整備をすることが、多くの観光客を呼び込む要因になると考え、代表質問の中で市の見解を質しましたが、嘉穂劇場は民間の所有であり、行政が主体となって整備することは、困難とのことでした。

現在、市は中心市街地の活性化に取り組んでいますが、他の自治体にはない、飯塚市が誇れる文化的価値のある資産を活用しない「まちづくり」が、成功するのかが疑問です。



八千代座前の景観

鯉田地区遠賀川堤防道路の道路整備進む

平成21年10月に鯉田自治会長会と一緒に、県道口ノ原川島線のJR世尊寺踏切～鯉田橋～飯塚第三中学校までの道路整備を、吉村敏男・吉柳順一福岡県議員に要望していましたが、平成21年度にJR世尊寺踏切からスーパー川食鯉田店前までの約150mが完成し、平成22年度も引続き鯉田橋付近から飯塚第三中学校までの約446mの整備が行われました。

残る個所については、用地買収が必要なため、用地買収終了次第工事が実施される予定となっています。



吉村敏男福岡県議員（右）

と、鯉田橋周辺の道路整備

立岩小学校通学路に横断歩道を整備

立岩小学校正門前の道路に横断歩道が設置されていましたが、反対側に歩道が無く利用価値が無い横断歩道であるので、設置場所の移動の相談が立岩小学校児童の保護者の方からありましたので、移動して設置を希望する場所の確認を行い、学校長・PTA会長名の移設要望書を作成して、市に提出致しました。

また、横断歩道の設置については、県の公安委員会の許可が必要な為、吉村敏男福岡県会議員に要望を行い、横断歩道の移設が平成23年1月21日完了致しました。

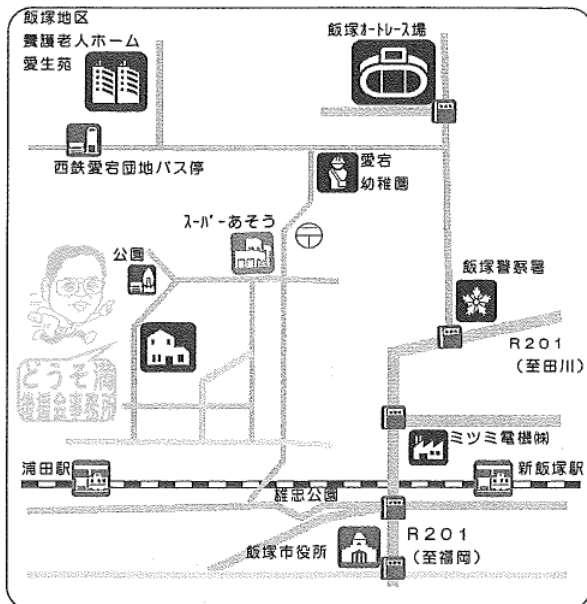
また、合わせて立岩小学校正門入口付近の歩道に、ガードレールの整備も行うことが出来ました。



後援会事務所を開設致しました。

平成23年3月20日、自宅に後援会事務所を開設致しました。

住所：飯塚市鯉田2525-44 TEL：0948-25-3280



どうそ満の経歴

- ◆現住所……………飯塚市鯉田2525-44
- 昭和29年7月5日……福岡県田川に生まれる(現在56歳)
- 昭和54年……………九州ミツミ株式会社入社
(現ミツミ電機株式会社・休職中)
- 昭和63年4月……………飯塚市議会議員初当選
- 平成 4年4月……………飯塚市議会議員二期目当選
- 平成 8年4月……………飯塚市議会議員三期目当選
- 平成12年4月……………飯塚市議会議員四期目当選
- 平成16年4月……………飯塚市議会議員五期目当選
- 平成18年3月……………新「飯塚市」誕生
- 平成18年4月……………総務委員会委員長
- 平成18年12月21日(12月定例市議会最終日)
市議会議員辞職
- 平成19年3月……………飯塚市議会議員六期目当選
飯塚市監査委員(2年間)
厚生委員会委員(2年間)